



国際センターだより

International Activities Center

「国際センターだより」では、土木学会の国際活動の一端を紹介しています。国際センターが毎月発行している「国際センター通信」と合わせて是非ご一読ください。

News Pick Up !!

モンゴル土木学会年次大会 参加報告



ウランバートルの街並み

2016年6月9～10日、モンゴル・ウランバートル市においてモンゴル土木学会 (MACE) 年次大会が開催され、国際企画の一環として行われたジョイントセミナー「大規模

事業のマネジメント」と円卓会議「BIM (Building Information Modeling)」に、国際センター・国際交流グループから2名が参加したので、その概要を以下に報告する。

モンゴルは、草原の国で、橋やトンネルといった土木構造物の建設機会が少ないためか、参加者の多くは建築技術者であり、冬が長く厳しいことによる工期短縮技術、冬期施工技術、資機材調達における脆弱な物流条件の考慮、まれに発生する地震へ対応等の要望や課題があり、外国企業との連携による先端技術の導入に関心が持たれている。

急増するウランバートルの建築物等の耐震化をキーワードにモンゴル企業と日本企業が連携を強め、モンゴルの建築物の一層の高層化、耐震化、施工時の生産性向上が図られることになれば、モンゴル、日本双方にとってメリットは大きい。今後、こうした分野を含め、関係機関の間で協力の具体化に向けた議論が継続することが期待される。

(中洲啓太氏の「国際センター通信」第48号寄稿文をもとに事務局にて作成した。)

2016年度 土木学会全国大会における国際関連行事の概要紹介

国際センターは、特別討論会「これからの我が国の国際貢献について」(建設マネジメント委員会と共催)、国際ラウンドテーブルミーティング (RTM) 「建設システムの変革に向けたCIMへの期待」に加え、インターナショナルサマーシンポジウム (国際セッション)、国際若手技術者ワークショップ、ネットワーキングレセプションおよびテクニカルツアーを実施した。

7か国・地域から参加があった。特別討論会やRTM、サマーシンポジウム、国際若手技術者ワークショップ等の行事単位で見ると、参加者数はほぼ例年どおりであった。若手技術者ワークショップへの日本人の参加は皆無であったが、せっかくの機会であるので、来年はぜひ参加していただきたい。テクニカルツアーについては、留学生等からも参加の希望が多く寄せられていたため、海外ゲストと別行程を組み実施した。海外ゲストは、早朝仙台を出発し、宮城県女川町の震災復興事業を視察し、帰路、石巻市の日和大橋経由で仙台に戻り津波避難タワーなどを視察した。一方、午後に出発する留学生グループは、東北大学災害科学国際研究所、仙台市津波避難タワー、仙台国際空港など仙台市内の各所を視察した。あいにくの雨ではあったが、参加者には満足いただけたと自負している。

(土木学会誌2017年1月号付録の全国大会報告記事もご覧ください。)



RTMの参加者

Event Calendar

国際センターが企画する2016年度のイベント (行事) については、以下のURLでアクセスし、「イベント情報&開催報告」をご覧ください。

<http://committees.jsce.or.jp/kokusai>

土木学会国際センター

検索

News Pick Up ! と Event Calendar の詳細は、毎月発行の「国際センター通信」をご覧ください。

「国際センター通信」は下記の学会ホームページ (日本語版・英語版) からアクセスできます。また、メール配信を希望される方は、国際センター事務局までメールにてお申し込みください。

※国際センター事務局 e-mail : iac-news@jsce.or.jp

■ 日本語版 HP : <http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/26>

■ 英語版 HP : <http://www.jsce-int.org/pub/iacnews>

■ Facebook : (日本語版) <http://www.facebook.com/JSCE.jp/>

■ (英語版) : <https://www.facebook.com/JSCE.en>